



千葉県いすみ市

有機給食と有機農業産地づくり

■いすみ市の概要

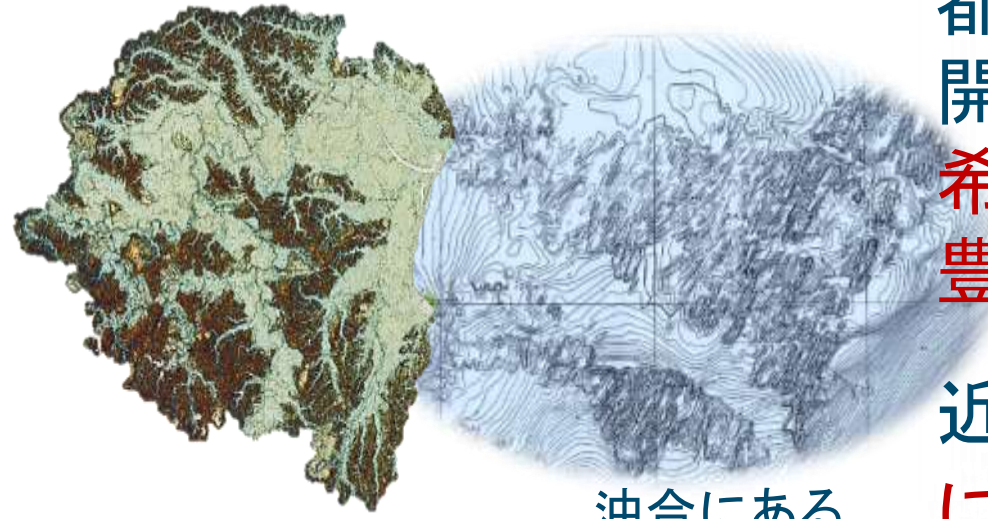


千葉県いすみ市

房総半島南東部に位置する
人口約36,000人のまち。

都心から70km圏内にあるが、
開発の影響から逃れたことで、
希少生物も多く、自然の恵み
豊かな里山・里海地帯である。

近年は、世代を問わず移住者
に人気がある。



夷隅川中・下流域に
位置するいすみ市

沖合にある
広大な暗礁群
「器械根」

■千葉県いすみ市における有機農業推進の経緯

- 2012年 コウノトリの兵庫県豊岡市をモデルに「生物多様性」と「水稻」の2部門による協議会を設立
会長を副市長、副会長をJA組合長、事務局は農林課
この時点で地域における有機農業者はゼロ
- 2013年 手探りの水稻無農薬栽培に挑戦するも失敗
- 2014年 水稻有機栽培の実証事業(3年間)開始
民間稲作研究所、県普及指導員、JA、市が連携
- 2015年 生産された**有機米4トン**を学校給食に導入
- 2017年 学校給食の**全量にあたる42トンの有機米**を提供
有機JAS認証取得開始 産地を形成
- 2018年 同協議会に有機野菜部門を設置
学校給食に向けた有機野菜の生産と産地化の取組を開始

■いすみ市の有機農産物の学校給食利用、成果

- ・有機農業者ゼロから4年で産地を形成
- ・学校給食における残食の減少
- ・イメージアップと認知度向上
- ・移住者の増加
- ・農産物のブランド化
- ・農業所得の向上
- ・新規就農希望者の増加

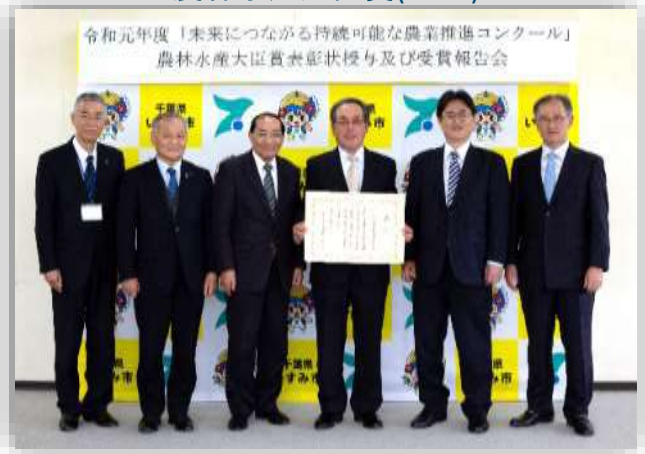
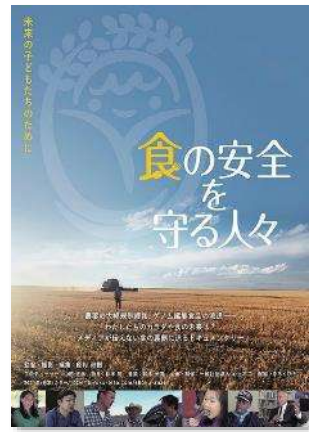
その他



辻静雄食文化賞(2020)



未来につながる持続可能な農業推進コンクール
農林水産大臣賞(2020)



■2013年22アールで始まった手探りの無農薬栽培



やせ我慢の無農薬栽培では続かない、広がらない

■第一人者に学ぶ



NPO法人民間稲作研究所
理事長

いなば みつくに
稲葉 光國 先生

東京教育大学大学院農学研究科修士課程修了。
1997年民間稲作研究所設立、1999年～理事長。
「有機農業技術支援センター及び有機種子供給センター」を開設。
兵庫県豊岡市「コウノトリと共生する水田づくり水田再生事業」受託。
千葉県いすみ市より有機稲作の技術支援の依頼を受け、学校給食
有機米100%実現を支援。
2017年～「ブータン王国での循環型有機農業の普及による地域創成
事業」実施。

■普及・啓発の経緯



■学校給食米における有機米の使用

- 安心・安全なお米を子どもたちに提供したい
- 子どもたちに地域の農業や環境のことを知ってもらいたい

年度	有機米導入量	割合
2015	4t	11%
2016	16t	40%
2017	28t	70%
2018	42t	100%
2019	42t	100%

全国に先駆け、学校給食のお米を全て有機米に

食育の推進

有機農産物の
消費拡大

有機農産物の
生産拡大

地域イメージ
の向上

持続可能性、循環型社会への転換を促進

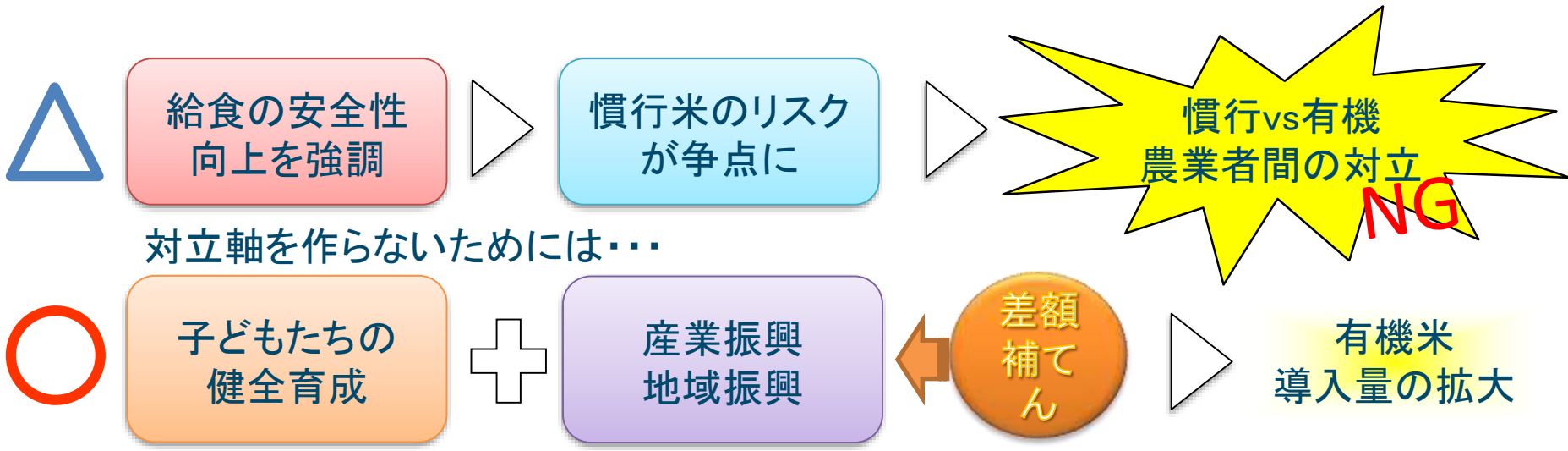
■学校給食全量有機米に向けたプロセス

有機米と慣行米との価格差は147円/kg
一食当たり85g、米飯支給回数月平均13.5回とすると
 $147円/1,000 \times 85g \times 13.5回 = 169円$

学校給食全量有機米に伴う

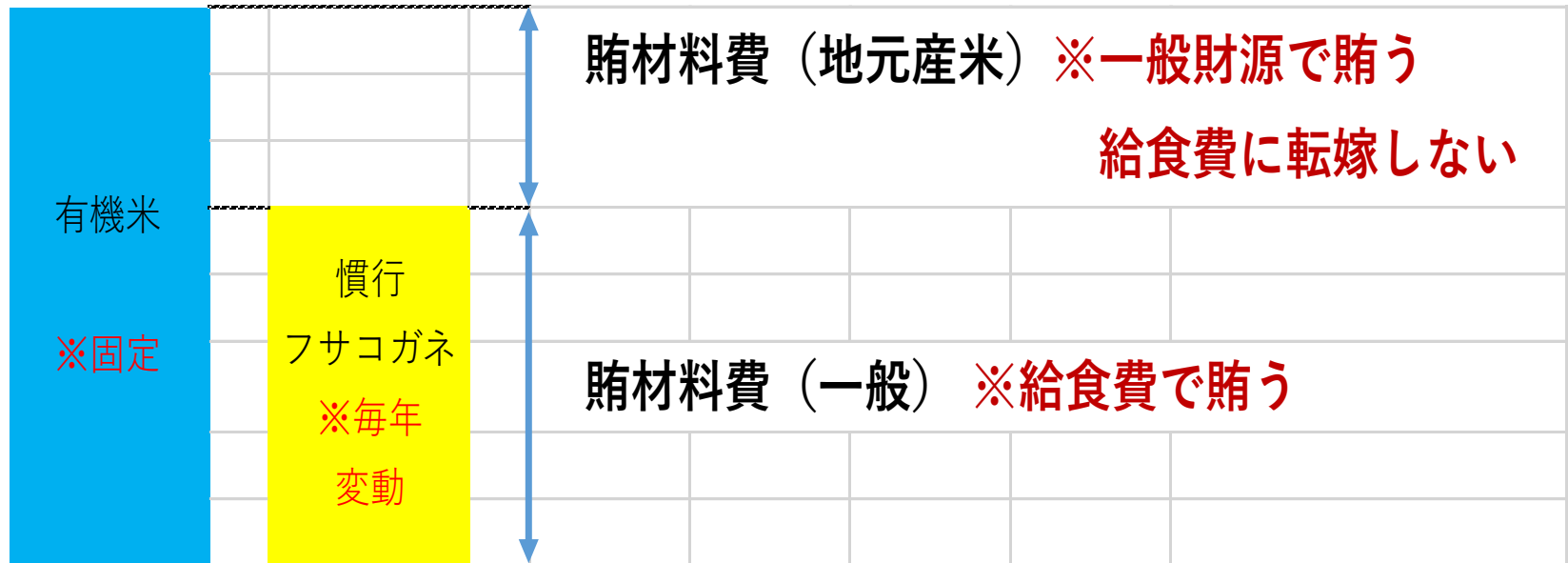
1か月の給食費値上げ分 169円 ←意外と安い！

がしかし、給食費値上げ＝家庭の所得と係るナーバスな問題
給食費値上げはNG



地場産有機米の学校給食には、自治体独自の財政的支援が必要

給食食材の購入費(賄材料費)の区分



環境に配慮した農産物のブランド化

子どもたちの未来を支えるお米



JAL国内線ファーストクラスのおもてなし
日本各地の名店プロデュース機内食

新 JAPAN PROJECT

千葉県

～初秋を彩る地元食材を創作日本料理で～



JAL FIRST CLASS



Japan Airlines adopted the rice as in-flight meals of first class (2016)
日本航空ファーストクラス機内食に採用





有機野菜も学校給食に 2018年～



■有機給食のねらい（野菜生産者の目線）

（ベテラン農家の）

生きがい

地域貢献

（新規・若手農家の）

生業

安定した販路

いすみ市における有機給食には
生産者の「生きがい」と「生業」の創出
が求められる

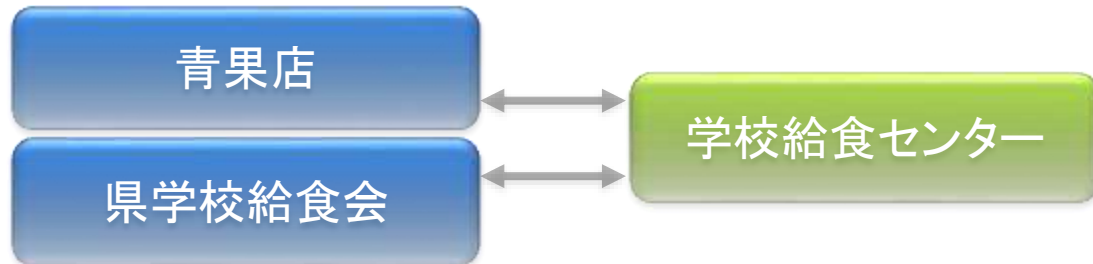


少ない生産量でも農家が無理なく参加でき、
生産意欲の高い農家に安定した所得を還元できる
仕組みにする

奉仕的性格にとどまらない

学校給食へ地場産有機野菜を導入

通常の給食野菜の流れ



青果市場の野菜が安定的に供給されるシステム

→地産地消は県内産がメイン

→**地元野菜は供給できない!**

学校給食有機野菜供給体制構築事業 2018年～

○給食センターの現体制で**無理なく使用できる品目から優先**

2021年度は、有機ニンジン、有機コマツナ、有機メークイン、有機タマネギ、有機ニラ、有機ネギ、有機ダイコン、有機キャベツ

いすみ産有機野菜の流れ

品目選び～作付け、納入まで、定例会で協議



作付け・出荷調整会議

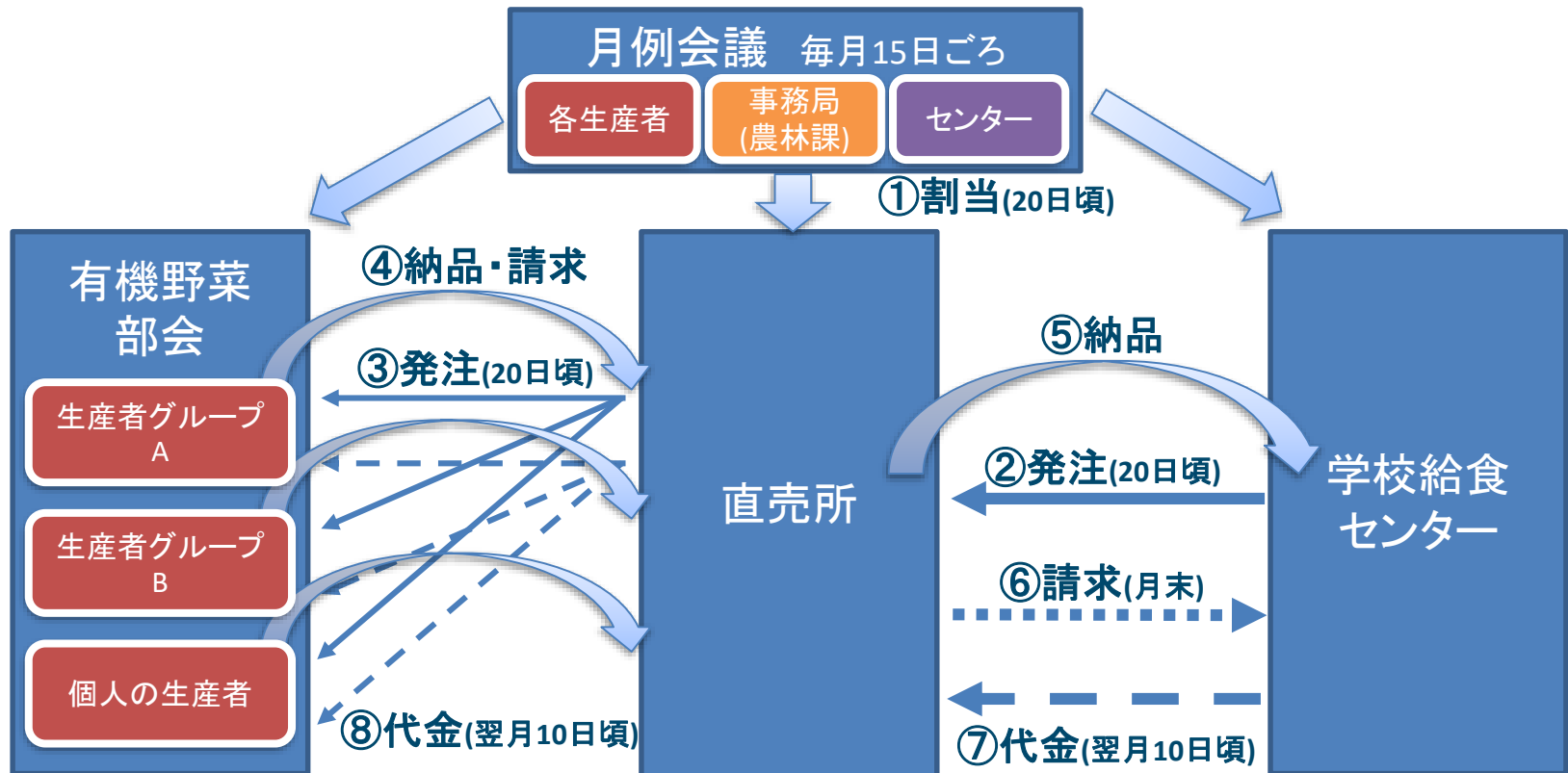


一括配送

学校給食用有機野菜の流れ

◎農林課職員が「コーディネーター」の役割を担っている

例えば、①割当の作成と関係者への通知、②割当の変更、③不足調整(まず直売所に対応、直売所が無理ならセンターへ連絡し、他の業者で対応)等



学校給食用有機野菜使用品目及び納品規格・基準一覧

品目	規格	基準(g)	基準(cm)	調整
小松菜	M・L		「草丈」 20cm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根を切る。 ・葉先に傷みのないもの。 ・抽苔していないもの。
むき玉ねぎ	L		「1個直径」 8cm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根を切る。 ・頭を落とし外皮をむく。 ・身が締め緩みのないもの。 ・抽苔及び萌芽していないもの。
じゃがいも	2 L	「1個重量」 170g以上		<ul style="list-style-type: none"> ・土をよく落とし風乾する。 ・日焼、緑化、萌芽のものを除く。 ・異品種はまぜない。
長ねぎ	M～		「軟白部の長さ」 25cm以上 「軟白部の太さ」 1.3cm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉は箱の長さに合わせて切断する。 ・抽苔及び萎凋のないもの。
にら	M～		「葉丈の長さ」 »27cm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・抽苔していないもの。
大根	S～	「1本の重量」 700g以上		<ul style="list-style-type: none"> ・葉は根元から落とす。 ・岐根、裂根がないもの。 ・す入りの恐れ及び抽苔していないもの。
人参	2 L	「1本の重量」 230g以上		<ul style="list-style-type: none"> ・葉は根元から落とす。 ・岐根、裂根がないもの。 ・抽苔していないもの。
きゃべつ	S～	「1個の重量」 700g以上		<ul style="list-style-type: none"> ・茎を切る。 ・外葉をむく。 ・適度に結球し、裂球していないもの。 ・抽苔していないもの。

1規格指定では地場野菜を必要量集めるのは困難。調理場に負担のかからない範囲でS～というように規格を幅広くとる

【共通の調整について】

新鮮であること。
 泥をよく落とす。
 虫がついていないもの。
 凍害、傷害ないもの。
 枯葉、黄化を除く。

機械で裁断する都合上、大ぶりの規格が求められる品目もある
 →給食の規格に合う品種を選ぶことで対応



1日目



1日目



3日目



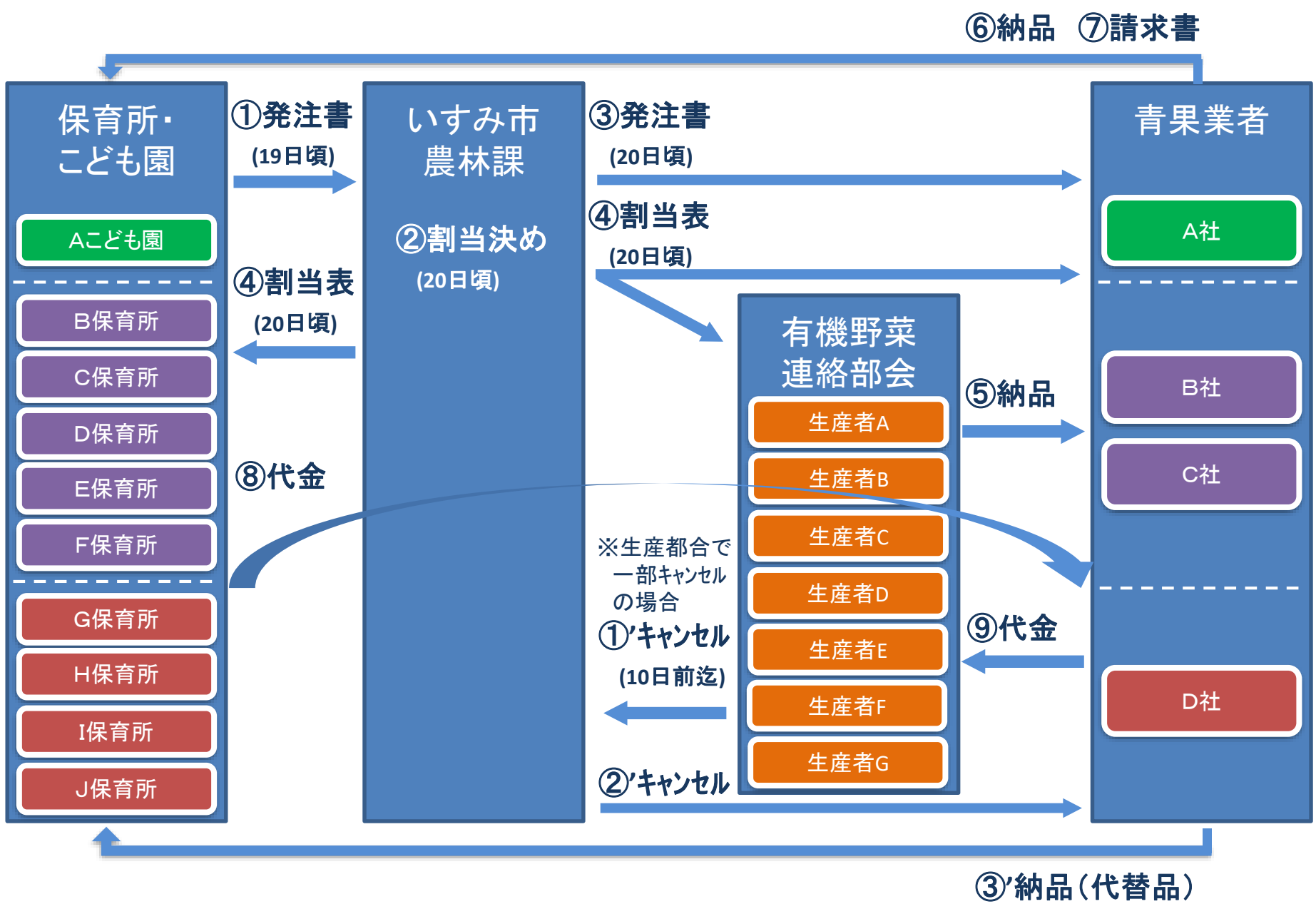
2日目

学校給食 いすみ産有機野菜の使用実績 単位(kg)

	品目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1	小松菜	120	98	101
2	むき玉ネギ	709	286	192
3	ジャガイモ	182	80	91
4	長ネギ	874	384	184.5
5	ニラ	95	62	12
6	大根	1,082	498	103
7	人参	1,295	352	57
8	キャベツ	221	0	0
	合計	4,578	1,760	740.5

令和5年度は保育所・こども園の給食へ有機野菜を開始します

保育所・こども園 給食用いすみ産(有機)野菜の流れ



学校給食・保育所給食向け有機野菜価格の決め方 いすみ市の場合

地産地消の学校給食では、
「卸売価格」をもとに価格を決めている地域が多い
しかし、有機野菜の「卸売価格」は存在しない
有機野菜の「小売価格(統計)」はある(過去にあった)

- ⇒①『生鮮野菜価格動向調査(農林水産省)』より、有機栽培品の小売価格を調べる
- ②『食品流通段階別価格形成調査(農林水産省)』より、流通経費(小売経費)を調べる
- ③「小売価格」－「小売経費」＝「(実需者向け)価格」



認証日 2021年8月10日

様

特別栽培農産物生産者
認証証明書

上記のものを特別栽培農産物に係る農林水産省新ガイドラインによる表示に基づく当認証センターの認証要件を満たしていることを証する。
ただし、特別栽培農産物に係る農林水産省新ガイドラインによる表示に適合しなくなった場合、この認証証明書は無効とする。

認証番号 T-21012
認証の種類 特別栽培農産物生産者
氏名又は名称 [Redacted]
住 所 千葉県いすみ市 [Redacted]
認証に係る農林物資の種類 特別栽培農産物 三ツ星

日本農林規格登録認定機関
一般社団法人 民間稲作研究所認証センター
〒329-0636 栃木県河内郡上三川町大字稻倉72番地

代表理事 前田 忠信



給食に納品する有機野菜は
全て、第三者機関が

特別栽培

- ・ 節減対象農薬栽培期間中 不使用
- ・ 化学肥料【窒素成分】栽培期間中 不使用

で認証しています

自然の力をそのまま野菜に

いすみそだち



●遺伝子組み換え技術の不使用

●栽培期間中における化学合成農薬と化学肥料の不使用

●野菜を健康に育てるための地域由来の資源(堆肥や緑肥ナレ)を用いた土づくり

いすみそだち野菜の主な特徴



認証マーク



「いすみそだち」認証について

自然と共生する土づくり連絡協議会(事務局:いすみ市農林課)では、令和5年度から、地域由来の資源を用いた土づくりがなされ、化学合成農薬と化学肥料を使用せずに、販売することを目的に栽培されたいすみ市内の野菜(畑作物)を「いすみそだち」として認証しています。



「いすみそだち」認証マーク

「いすみそだち」認証までの流れ



「いすみそだち」野菜の主な特徴

- 野菜を健康に育てるための地域由来の資源(堆肥や緑肥など)を用いた土づくり
- 栽培期間中における化学合成農薬と化学肥料の不使用
- 遺伝子組み換え技術の不使用

認証手数料

当面の間、無料とします。

認証マーク(シール)の購入

当面の間、無料とします。
認証マークを認証された野菜以外に貼ることはできませんのでご注意ください。
認証マークを、申請していない作物や申請はしたがまだ認証されていない作物、傘や看板など身の回りのものに貼ることはできません。]

表示に関する注意事項

「いすみそだち」に申請し、書類審査、実地検査を経て、認証証明書の交付を受けた後、認証された野菜に認証マークを表示して販売することができます。店頭などでの表示の際は、以下に注意事項があります。

- ⚠️「有機」「オーガニック」とは表示できない。
有機JAS制度により、有機JASマークが付されたものだけでなく「有機○○」や「オーガニック○○」と表示することはできません。
- ⚠️「無農薬」「無化学肥料」とは表示できない。
消費者が「土壌に残留した農薬や周辺環境から飛散した農薬を含め、一切の残留農薬を含まない農産物」と誤認する恐れがあるため、「無農薬」と表示することは禁止されています。「無化学肥料」も同様です。

お問い合わせ先

いすみ市農林課 有機農業推進班
電話番号: 0470-62-1515

〒298-8501 いすみ市大瀬7400番地1
ファックス番号: 0470-62-2836
メールアドレス: seisan@city.isumi.lg.jp





**総合的な学習の時間【30時限】5年生
いすみ教育ファーム「田んぼと里山と生物多様性」 2016年～**





いすみの 田んぼと里山と せいふつたようせい 生物多様性

いすみの田んぼと里山と生物多様性 発行 2019年 10月

5. 田植えをしよう

田植えは、稲の種を田んぼに植えることです。田んぼには、水がたまり、稲が育ちます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。

田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。

田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。

田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。田んぼには、水田の生き物や植物がいます。

今年も小学生の収穫体験と

11/29

12/6

管理栄養士と生産者のお話し会をしました!!



今日の収穫体験を
楽しみにしていました

おねがひします



- いすみ市産
- ・にんじん
 - ・小松菜
 - ・にら
 - ・大根
 - ・たまねぎ
 - ・長ねぎ
 - ・メーウィン
 - ・切干大根
 - ・梅ジャム
 - ・みそ

給食センターの
管理栄養士さん

まずいすみ市産
次は千葉県産
次は国産の順に
えらんできます!!



はじまる前から
泣く〜!!



子どもたちが楽しんでると大人たちはうれ〜

12/1



今回は
大根とにんじんは
おみやげに
長ねぎは
給食のマーボー豆腐
になったよ!!

こっちのダンドリでワタワタしてたら
こっちのダンドリにはなかつた
小学生のあいさつに感動〜!!!
おばちゃん泣いちゃうよ〜

有機農業の未来は？【報道特集】



千葉・いすみ市

有機米生産成功の自治体

有機米



有機米の生産

▶ ▶ 🔊 19:11 / 22:21

スクロールして詳細を表示



YouTube TBS【報道特集】有機農業の未来は？



**有機米100%のオーガニック給食
千葉県いすみ市の挑戦**

YouTube 次代の農と食を守る会

有機農業
選書
コモンズ



安井 孝

地産地消の

学校給食から始まり

有機農業や食育を柱とした

まちづくりで

全国の注目を集める今治市

約30年にわたる

取組の全容を紹介



地産地消と学校給食

有機農業と食育のまちづくり



Organic
School Lunches
Bridge
Agriculture
and
Communities

轟理恵子・谷口吉光…編著
Rieko Tsuru / Yoshimitsu Taniguchi

● 考え方 ● 全国の事例 ● Q & A

有機給食スタートブック



岩鏡ブックレット No. 751

学校給食

食育の期待と食の不安のはざまて

牧下 圭貴

■子どもたちが成長し、やがて築く未来の食卓と、未来の食卓に支えられる農業・農村に大きく期待する



ご清聴ありがとうございました